

Studyaid D.B. 徹底活用術

～ 図形問題作成の時短術！「部品」機能を使いこなそう～

計算問題に比べ、図形分野の問題はどうしても作成に手間がかかってしまいます。

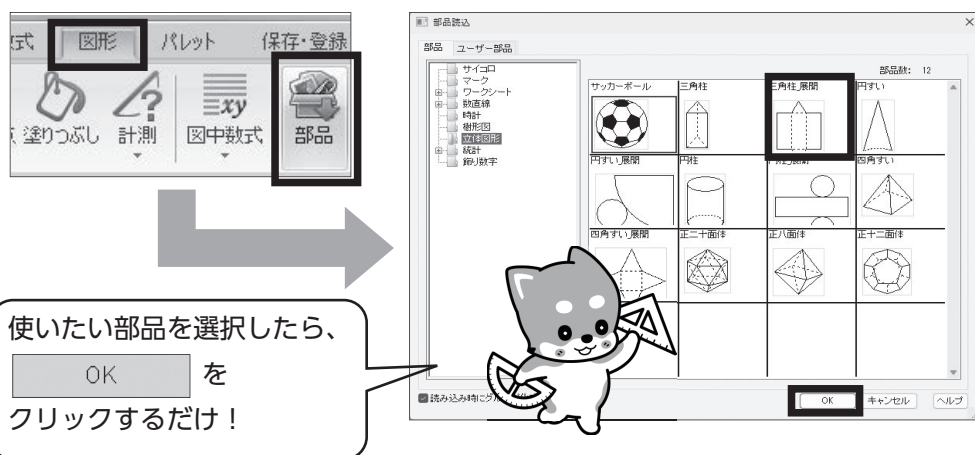
そこで今回は、図形問題の作成時間を短縮するのに役立つ「部品」機能をご紹介します。
図形分野に進むこれからの時期にお役立てください。

使いたい図形を選ぶだけ — 「部品」機能 —

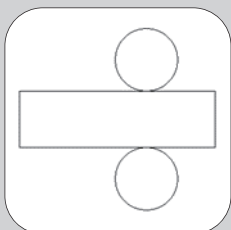
Studyaid D.B. では「三角柱の展開図」など、作成に手間がかかる図形を「部品」として収録しています。使いたい「部品」を選ぶだけで完成済みの図形を挿入することができ、図形問題の作成にかかる時間を短縮できます。

「部品」機能の使い方

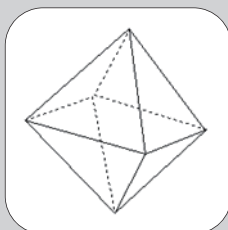
1. 図形タブの「部品」をクリック。
2. 部品読み込み画面で挿入したい部品を選択し、「OK」をクリック。



こんな部品が収録されています



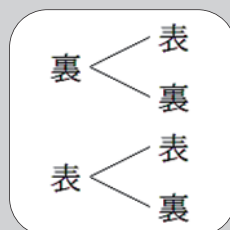
円柱の展開図



正八面体



サッカーボール



樹形図

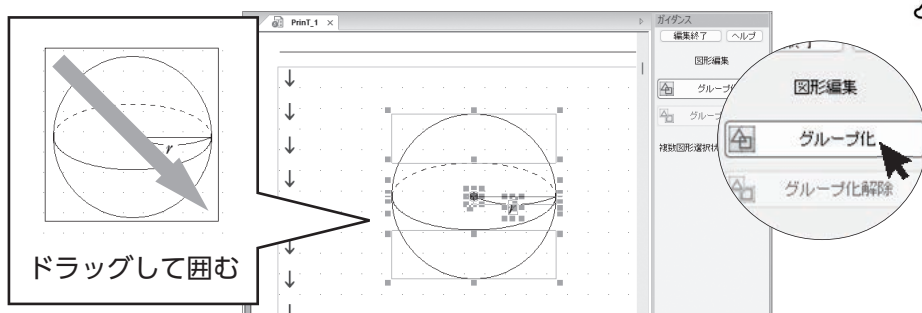
オリジナルの図形を登録して再利用 — 「部品登録」 機能 —

「部品登録」機能を使えば、オリジナルの図形を「ユーザー部品」として登録しておくことができます。よく使う図形や時間をかけた力作の図形など、一度登録しておけば今後は「ユーザー部品」から選択するだけで簡単に挿入できるようになります。

準備：登録したい図形をグループ化しておく

1. 図形タブの「図形選択」をクリック。
2. 登録したい図形を囲むようにドラッグして選択。
3. ガイダンスの「グループ化」をクリック。

「グループ化」すると、複数の図形を1つの図形として扱えます

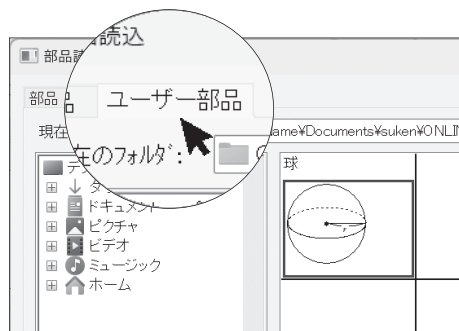


「部品登録」でユーザー部品に登録

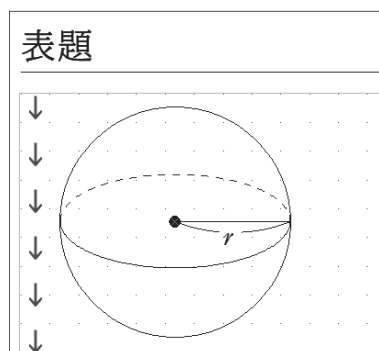
1. グループ化した図形を選択。
 2. 右クリックしてメニューを開き、「部品登録」をクリック。
 3. 任意のファイル名（部品名）を入力し、「保存」をクリック。
- これで **登録完了** です。次は登録した部品を使ってみましょう。

登録したユーザー部品を使う

1. 図形タブの「部品」をクリック。
2. 部品読み込み画面で「ユーザー部品」タブに切り替え。
3. 挿入したい部品を選択し、「OK」をクリック。



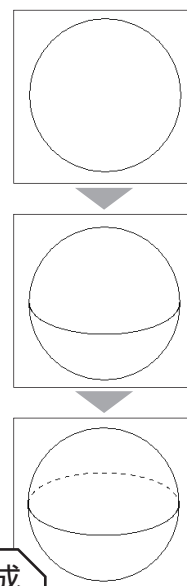
部品を選択して「OK」をクリック



おすすめ！「部品登録」をしておくと便利な図形

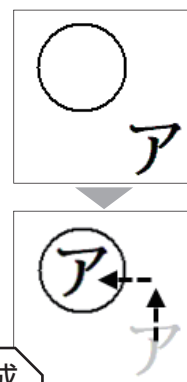
おすすめ①：「球」の描き方

1. 適当な大きさの円を作成。(図形タブの「円」→「円」)
2. 地球でいう“赤道”にあたる部分の手前側を作成。
 - (i) 図形タブで「円」→「楕円円弧」の順でクリック。
 - (ii) 1 で作成した円に重なるように中心、大きさを決定。
 - (iii) 円弧の開始位置(円左側)、終了位置(円右側)でクリック。
 - (iv) ガイダンスにある「作図終了」をクリック。
3. 地球でいう“赤道”にあたる部分の奥側を作成。
 - (i) 2 で作成した楕円円弧を選択。
 - (ii) 編集タブの「上下反転追加」をクリック。
 - (iii) ガイダンスで線種を「点線」に変更し「更新」をクリック。



おすすめ②：「丸囲み文字」の描き方

1. 作業しやすいように画面右下の表示倍率をクリックし「300%」に設定しておく。
2. 1 文字程度の大きさの円を作成。(図形タブの「円」→「円」)
3. 丸囲みする文字を作成。
 - (i) 文章タブの「図中数式」をクリック。
 - (ii) 任意の位置でクリックしてテキストボックスを挿入。
 - (iii) 「ア」と入力し、ガイダンスの「確定」をクリック。
4. 円と文字の位置を整える。
 - (i) 作成した円、文字を両方選択。(Shift を押しながらクリック)
 - (ii) 編集タブの「整列」→「左右中央揃え」をクリック。
 - (iii) 続けて、編集タブの「整列」→「上下中央揃え」をクリック。



※文字やフォントによってはぴったり揃わない場合があります。その際は手動で位置を調整してください。



ブラウザ版がより使いやすく！

～編集機能の「試作体験版」公開～



Studyaid D.B. オンラインのブラウザ版は、2024 年春頃、基本的な編集機能と印刷機能を追加し、さらにパワーアップ※¹します！それに先立ち一部機能を搭載した「試作体験版」を公開中※²です。ぜひ一度お試しください、みなさまのご意見・ご感想をお聞かせください！！
体験版には右上の QR コード、または「<https://proto.online.stdb.jp/>」からアクセスできます。

※¹ 各機能は順次追加予定です。また、搭載される機能はデスクトップアプリ版と異なる場合があります。

※² 体験版のご利用には「数研アカウント」(登録無料) が必要です。